

平成19年度
「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」
意見交換会(北海道地区)

「夢を育む e - 学生支援」

— ITシステムと個別担任制の連携による
多様な学生へのきめ細かな学生支援—

キーワード: 多様な学生、個別担任制、電子ポートフォリオ、
ピア・サポート、SNS



国立大学法人
北見工業大学
Kitami Institute of Technology

自然と調和するテクノロジーの発展を目指して

1

北見工業大学概要

理念: 「人を育て、科学技術を広め、地域に輝き、未来を拓く」

目標(教育): 「向学心を喚起し、創造性を育み、将来の夢を拓く教育」

	学科/専攻	学生定員	専任教員
工学部	6	1660	154
博士前期	6	184	
博士後期	2	36	



0. 学生支援GPへの事前取組

- 合同フォーラムへの参加(18年11月、横浜)
- ワーキンググループによる準備
 - 第1回検討会(18年11月) 4月申請を想定
 - 特色ある取組:個別担任、出席状況記録、JABEE対応
 - 新たな取組:きめ細かな学生支援(本学の規模では可能)
 - 第2回検討会(19年1月)
 - 『夢』のある学生支援(多くの学生に関わる支援の充実)
 - “face to face”が基本、ITの利用(負担の“増”と“減”)
 - 第3回検討会(19年3月) 7月申請の通達
 - 学生間の相談と交流の支援
 - 公募要領公開後、申請書作成(19年6月)

3

JABEEとは

- JABEE(日本技術者教育認定機構)とは
 - 大学等における、社会の要求水準を満たしている技術者教育プログラムを認定する機構
- 認定・審査
 - 日本技術者教育認定基準に基づく審査
 - 学習・教育目標の設定と達成(アウトカムズ評価)
 - 自己点検書と実地審査:証拠主義
- 本学の対応
 - すべての学科が認定を申請予定(土木開発工学科は2003年度から認定済み)

JABEEの認定基準

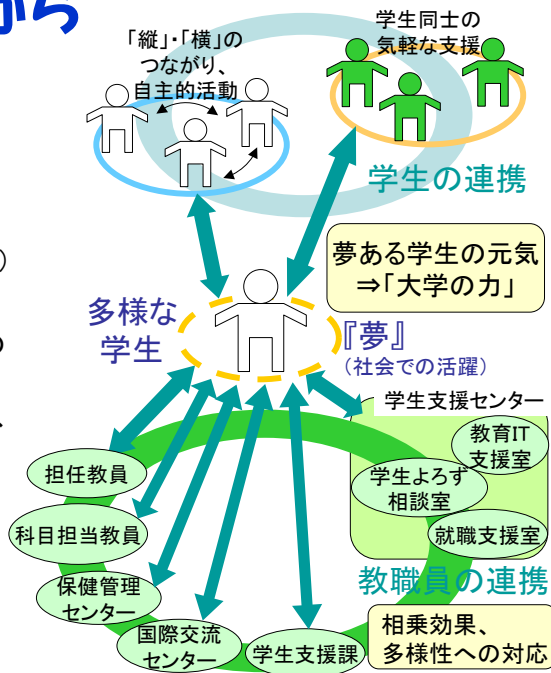
1. 学習・教育目標の設定と公開
2. 学習・教育の量
3. 教育手段
4. 教育環境
5. 学習・教育目標の達成
6. 教育改善

「JABEE」は本学の学生支援GPにおける
もうひとつのキーワード

4

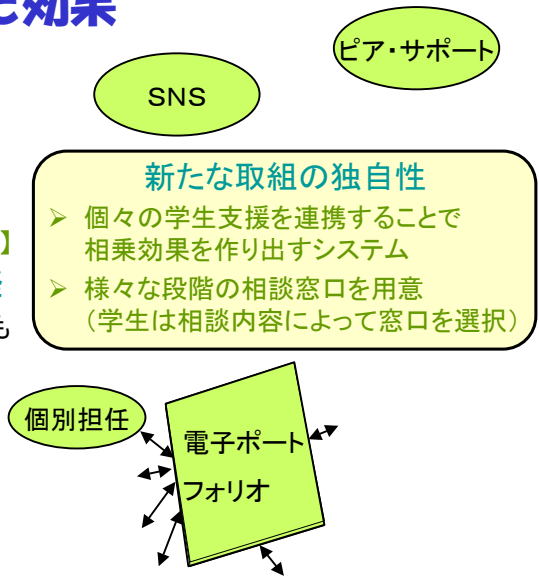
1. 現在の取組から 新たな取組へ

- 新たな社会的ニーズへの対応
 - 多様な学生
(資質・能力・知識の多様性)
- 学生ニーズへの対応
 - 半数以上は北海道外からの学生⇒交流の機会を提供
 - 学生生活での悩み・不安に、半数以上の学生は「自分で対処」、「なりゆきまかせ」⇒学生同士の気軽な相談



2. 具体的な方法と 学生の視点から見た効果

- (1) 個別担任制の全学実施
 - ✓ 定期的に個別面談がある (臨時もある)
 - 効果 ✓ 自分のことを知っているので相談しやすい【ホームドクター】
- (2) 電子ポートフォリオの構築
 - 効果 ✓ いつでも、どこでも、だれとでも相談できる【紹介状不要】
- (3) ピア・サポート
 - 効果 ✓ 学生同士であり、気軽に相談できる【同じ目線】
- (4) SNS
 - 効果 ✓ 気軽に交流・情報交換できる【24時間利用可能】



2. (1) 個別担任制

- 修学や学生生活のきめ細かな指導
 - 個別面談の役割を重視(全学生が対象)
 - 全教員が1学年あたり5人程度の学生を担当
- 新規学年制における移行の円滑化
 - 1年目:系入学→2年目:学科移行→3年目:コース選択→4年目:研究室配属
- JABEE(日本技術者教育認定機構)への対応
 - JABEE認定基準:3.2 教育方法
 - 授業等での学生の理解を助け、勉学意欲を増進し、学生の要望にも対応できるシステム
 - 学習・教育目標に対する自分自身の達成度を点検させ、学習に反映させること

7

修学指導記録簿 (個別担任用)

修学指導記録簿									
ふりがな		男	入学年	学籍番号	生年月日				
氏名		女	H ()						
現住所	〒			E-mail:					
				TEL:		携帯E-mail:			
帰省先	〒			TEL:					
保証人	氏名				続柄				
出身高校				部活動等					
備考									
学業成績 (記載日は、教務配布の成績票の日付を記入する)									
修得単位数	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	
記載日									
必修科目									
選択ⅠA									
選択ⅠB									
選択Ⅱ									
選択Ⅲ									
その他									
合計									
合計点順位	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平均点順位	/	/	/	/	/	/	/	/	/
修学指導記録									
年月日	担任	個別指導・面談内容							

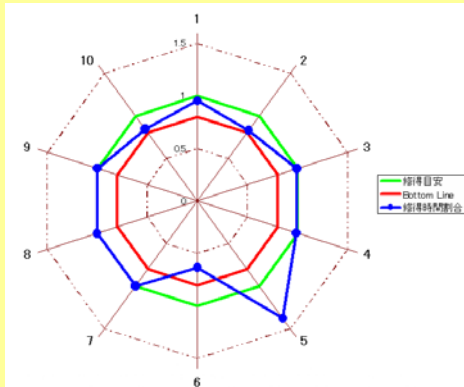
現在は紙で管理

8

JABEEへの対応

学習・教育目標ごとの学習時間記録

科目名1	単位数	時間数	必修/選択	合否	1	2	3	4	5	6	7
基礎化学	2	22.5	選択	*		50	50				
電気回路Ⅲ	2	22.5	選択	*				60	20	20	
量子力学	2	22.5	選択	*			40	60			
電磁エネルギー変換工学	2	22.5	選択/電気								
パワーエレクトロニクス	2	22.5	選択/電気								
電力システム工学	2	22.5	選択/電気	*				20	80		



(修学向上のための
指導記録やコメントを記入)

2. (2) 電子ポートフォリオの構築

電子ポートフォリオ(多面的な情報の共有)

修学指導
記録

JABEE
への対応

2007年度開講科目出席・学習時間記録システム

取得する単位をグラフしてください

開講科目: 受講生登録 出席記録 出席状況
履修

卒業研究: 学習時間記録 学習状況閲覧

修学番号 個人番号 学生番号

授業出席状況記録

○年君の必修科目出席状況

科目名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	出席率
材料化学I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	29.25
材料化学II	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31.5
材料化学III	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	34.75
物理化学I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
物理化学II	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
現時点での出席率: 57.56%											

現在は
1学科で
WEB記録

キャリア
教育記録

経済的
状況

情報ごとの
閲覧制限

10

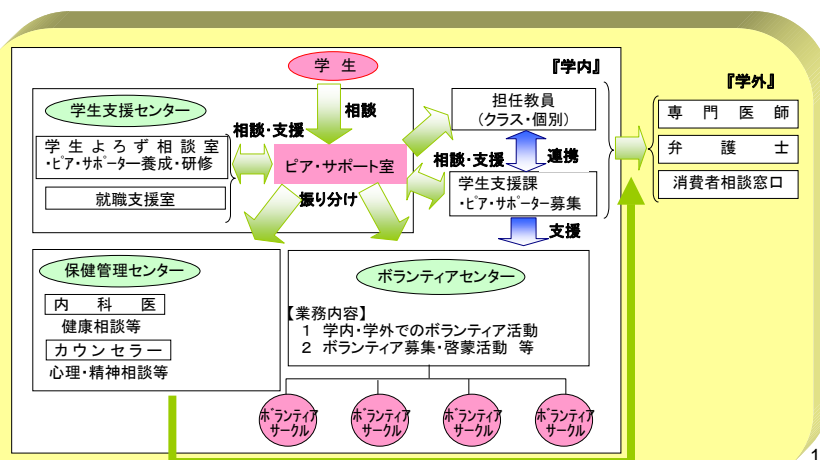
2. (2) 電子ポートフォリオの構築

- 学生カルテの設計・開発
 - 学生の多元的情報を教職員で共有
(ITシステム活用による教職員の連携)
 - 個別担任やカウンセラーなどによる多様な学生への適切で迅速な指導・対応(個々の学生支援の相乗効果)
- 安全なネットワーク環境の整備
 - 学内専用ネットワーク
(不正アクセスの排除、情報漏えいの防止)
- eラーニングシステムとの連携
 - 将来的にはLMS(学習管理システム)と学生カルテの有機的連携も検討

11

2. (3) ピア・サポート

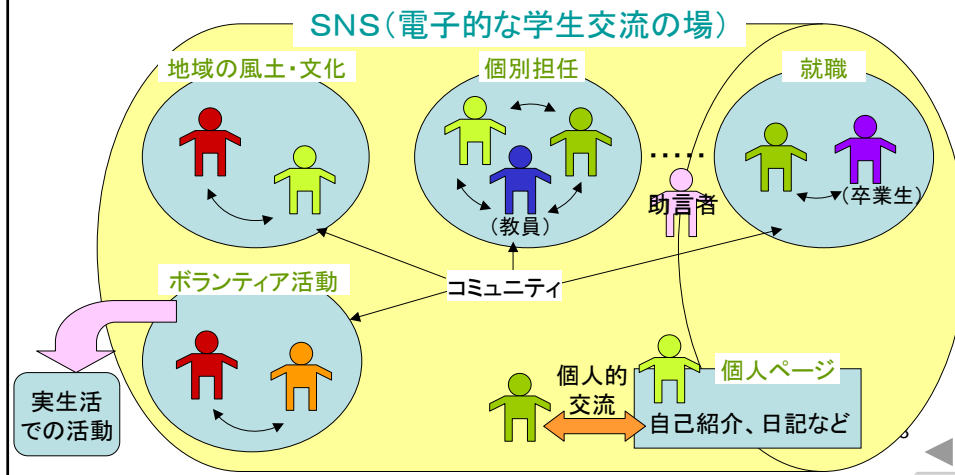
- 学生(ボランティア)が相談の窓口になる
- 学生による学習支援、相談内容による振り分け



12

2. (4) SNS (Social Networking Service)

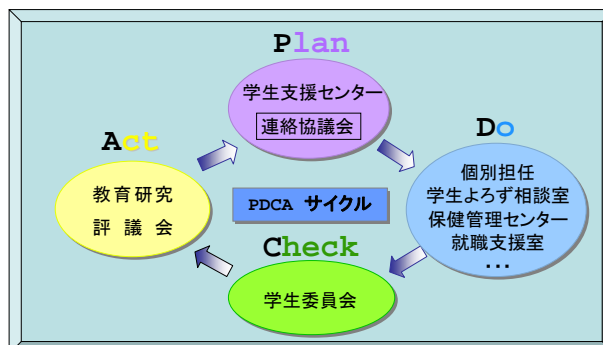
- 学生のつながり・活動の拡大(学科・学年を越える、卒業生も)
- 情報交換:情報の蓄積⇒知識データベース(情報の再利用)
- コミュニケーション能力の向上、マナーなどの教育
- ピア・サポートとの連携



3. 運用・推進・評価体制

～プログラム実施の計画・実行・評価・改善サイクル～

- 学生支援センターが運用・推進の中心
 - 教職員が連携して総合的な学生支援を企画・実施する組織
(センター長:副学長、副センター長:学生支援課長)
- 学生委員会が評価(教育研究評議会へ報告⇒改善)
 - 方法:学生及び教職員へのアンケート調査
 - 観点:学生の個別指導への有用性、
学生同士の相談、交流・情報交換の場としての機能性



14

4. 進捗状況

- 個別担任制
 - 既に、6学科中4学科で実施中
- 電子ポートフォリオ
 - 学生カルテの仕様を策定中(来年度に調達)
 - 既設光ファイバーを活用した専用ネットワークの構築中
- ピア・サポート
 - 平成19年8月 ピア・サポート・トレーナー研修会
 - 平成19年9月 ピア・サポート研修
 - 平成19年10月 実施
 - 平成20年4月 受付窓口の新設(相談しやすさの向上)
- SNS
 - 本学に適切なシステムを検討中

15

5. 他大学等の参考となる点

- 電子ポートフォリオのシステム構築
 - 使い勝手のよいシステム作り(JABEEにも対応)
- 情報共有による学生支援の実施・運用
 - 情報提供に関する教職員の理解
(小規模な大学では教職員の連携がとりやすい、セキュリティを確保しやすい)
- 個別担任制
 - 教員の理解
(電子ポートフォリオによる負担の軽減)

小規模工業大学
での実験的試み

評価・
検証

規模の大きな大学
における実施・運用

16